

平成29年7月26日  
国土交通省九州地方整備局  
遠賀川河川事務所

## 今年の回収量は過去最大を記録!!

～一度に年間最大量相当のゴミが遠賀川河口堰に漂着～

7月5日の大雨によって、遠賀川河口堰に大量のゴミが流れ着き、18日までに約4,600<sup>m</sup> (25mプールの18.4杯分)の陸揚げ作業を行っており、今年度の回収量は、7月18日時点で既に約5,700<sup>m</sup>で、過去最大となっています。

※これまで最大で回収したゴミの量は、平成24年度の4,800<sup>m</sup>

また、約1.5ヶ月をかけ、陸揚げしたゴミを分別処分する予定です。

なお、河口堰に溜まったゴミを放置した場合、水質などの河川環境を悪化するだけでなく、河口堰のゲートへを損傷させたり、操作の支障となるだけでなく、海岸へ流出することによる影響があるため、速やかに回収作業を行うものです。



ゴミの陸揚げ状況(7月18日撮影)



河口堰ゲート前の状況(7月10日撮影)

ゴミの多くは草木類です。その他ペットボトル、発砲スチロール等の生活ゴミですが、様々な種類のゴミが混在しています。

遠賀川はみんなの川です。その水は多くの人々の飲み水としても利用されています。今後も流域内の関係機関や住民団体等と連携し、ゴミ問題に取り組んでいく考えです。

### 【投げ込み先】 ○北九州地区

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所

管理課長 南 知浩 (遠賀川河川事務所) TEL 0949-22-1830

河口堰管理支所長 許斐 芳幸 (河口堰管理支所) TEL 093-201-1675



九州地方整備局では、一般の方が見学できる現場見学会情報「今見てほしい九州の土木」をHPで公開しています。  
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-torikumi/kyushu-doboku/index>

## (参考資料)

### ○近年のゴミ回収量

遠賀川河口堰は、水巻町と芦屋町にまたがる九州で最大(長さ517m)の可動堰です。

遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に遠賀川流域のゴミが大量に流れ着きます。その量は洪水の規模や回数に左右されますが、過去10カ年の河口堰で回収したゴミの量は下表のとおりです。

	回収したゴミの量	
平成20年度	2,300m <sup>3</sup>	
平成21年度	2,800m <sup>3</sup>	
平成22年度	2,100m <sup>3</sup>	
平成23年度	1,200m <sup>3</sup>	
平成24年度	4,800m <sup>3</sup>	
平成25年度	2,300m <sup>3</sup>	
平成26年度	3,400m <sup>3</sup>	
平成27年度	800m <sup>3</sup>	
平成28年度	4,200m <sup>3</sup>	
平成29年度	5,700m <sup>3</sup>	(7月18日現在)

### ○塵芥回収方法

フェンスで囲ったゴミを岸の方へ引き寄せ、バックホウで陸揚げした後に、可燃物・不燃物等に分別する作業を行います。



作業船によるゴミの回収状況(7月10日撮影)



たくさんの流木が漂着(7月21日撮影)

### ○塵芥捕捉施設の設置

平成25年3月に、遠賀川河口堰の上流250m付近に、長さ203mの塵芥捕捉施設(網場)を設置しました。

運用開始後の平成25～28年度は、全体回収量の6～7割を塵芥捕捉施設にて回収しました。

今年度も、3,500m<sup>3</sup>(6割)の塵芥を塵芥捕捉施設にて回収しました。